

施 工 要 領 書

株式会社 西日本チャフウォール

〒861-8006 熊本市北区龍田8丁目15番43号

TEL 096-337-8200 FAX096-338-6335

カルシウムペイント塗り

(チャフウォール塗り工程)

工 程		製 品 名
1	下地処理 (素地ごしらえ)	素地ごしらえ表による
2	下塗り	チャフウォールシーラー
3	中塗り	チャフウォール カルシウムペイント
4	上塗り	チャフウォール カルシウムペイント

plaster board surface priming (bare surface preparation)

工 程		塗 料 そ の 他			面 の 処 理
		規格番号	規格名称	種 類	
1	乾 燥	—————			素地を十分に乾燥させる。
2	汚れ 付着物除去	—————			素地を傷つけないよう 除去する。
3	穴埋め パテかい	チャフストロングS・U			ひび割れ、穴等を埋めて、 不陸を調整する。
4	研磨紙すり	研磨紙 P120～220			パテ乾燥後、表面を平らに 研磨する。
5	吸込止め	チャフウォールシーラー			全面に塗りつける。

(注)工程3 亀裂防止張り

ボードの継目などの目違い部分などは、クラックが出にくくなるように
グラスファイバーメッシュテープ 50m/m亀裂防止材をローラーで圧着し、
上からパテ埋めして表面が平らになるまで調整し乾燥(通常24時間)させる。

※ 特にベニヤ コンパネ ジプトンには、チャフシミ止めシーラーを必ず御使用ください。

※ 材料が硬質の為、軟質の下地の上には塗装は 避けてください。

※ **必ずパテは専用パテをご使用ください。**
練りパテを使用されると、チャフウォールを何回塗ってもシミが出てきます。

チャフウォールシーラー

薄付け仕上塗材・薄塗材 E

国土交通省認定 防火材料・基材同等 第0004号

1. 標準仕様

工 程	材 料	配 合	標準使用量 (kg/m ²)	塗回数 (回)	間 隔 時 間 (h)		塗面積 ／ 包装範囲	施 工 条 件	
					工 程 内	工 程 間 又 は 最 終 養 生			
1	下 塗	チャフウォールシーラー	16kg	0.16～0.2	1	—	2以上	80～100m ² ／ 16kg缶	ローラー
		水	10	—					

[注] ○標準使用量には水を含みません。

○塗面積は被塗装物の素地の状態、箇所及びパターンの種類によって多少の増減があります。

○間隔時間は標準状態(気温20℃・湿度65%)で表わしていますので施工現場では多少前後します。

2. 用 途

建築物内装

3. 適 応 下 地

モルタル・コンクリート・PCパネル・ALCパネル・コンクリートブロック・石綿スレート、

プラスターボード・ベニヤ

オガファーザー・ルナファーザー・クロス

4. 施工について

(1) 事前チェック

事前の打合せは綿密に行い、現場のついても事前にチェックし、スムーズに施工工程が進むよう考慮する。その際、架設現場の壁面との間隔も確認しておく。この間隔は30～40cmが適当です。

(2) 調 合

- a. チャフウォールシーラーが かたい時は1缶(16kg)に対し10までの清水で希釈し、均一に攪拌する。

(3) 施工方法

- a. チャフウォールシーラーは、塗り残しのないよう均一にローラー等で1回塗布する。

5. 施工上の注意事項

- (1) 下地の材令はモルタルの場合、夏季で14日、冬季で21日以上のもの(PH10以下・水分8%以下)とする。
- (2) チャフウォールシーラーの施工工程、材料配合は仕様を十分確認する。
- (3) 下地表面の汚れ、付着物等は除去する。
- (5) 施工時における気温が5℃以下の場合、降雨や降雪が予想される場合及び風の強い場合は、塗膜性能・仕上がり等に悪影響を与えるので施工を中止する。

6. 貯蔵上の注意事項

- (1) 製品は直射日光が当たる場所や、湿気の高い所を避けて屋内に保管しておく。
- (2) 製品の有効期間は12ヶ月です。

施工方法

チャフウォールカルシウムペイント (ローラー仕上)

薄付け仕上塗材・薄塗材C. P
国土交通省認定 不燃材料 No. NM-0162

1. 標準仕様

工 程	材 料	配 合	標準使用量 (kg/m ²)	塗回数 (回)	間 隔 時 間 (h)		塗面積 ／ 包装範囲	施 工 条 件	
					工程内	工程間又は 最終養生			
1	中 塗	チャフウォール カルシウムペイント	10kg	0.1	1	—	3以上	100m ² ／ 10kg袋	専用ローラー (ウーローラー)
		水	8～10ℓ	—					
2	上 塗	チャフウォール カルシウムペイント	10kg	0.1	1	3以上	24以上	100m ² ／ 10kg袋	専用ローラー (ウーローラー)
		水	8～10ℓ	—					

[注]

- 塗面積は被塗装物の素地の状態、箇所及びパターンの種類によって多少の増減があります。
- 間隔時間は標準状態(気温20℃・湿度65%)で表わしていますので現場施工では多少前後します。
- 材料が天然素材の為 多少色が異なる場合があります。
- ハケとローラーの継目が出る場合がありますので、注意してください。

2. 用 途

建築物内装

3. 適 応 下 地

モルタル・コンクリート・PCパネル・プラスターボード・ベニヤ・ケイカル板
オガファーザー・ルナファーザー・クロス

4. 施工について

(1) 事前チェック

事前の打合せは綿密に行い、現場についても事前にチェックし、スムーズに施工工程が進むよう考慮する。その際、仮設現場の壁面との間隔も確認しておく。この間隔は30～40cmが適当です。

(2) 調 合

a. チャフウォールカルシウムペイント(ローラー仕上げ)は、1袋(10kg)に対して8～10リットルの清水で希釈し、ハンドミキサーで15分ほど十分攪拌する。

(注)水の量は季節や温度によって多少異なります。

(3) 施工方法

- a. ウーローラー中毛を何回もしごき、十分材料を含ませます。
- b. 70cm角程度の範囲の下地面へローラーを転圧し、均一にくばり塗りをします。
- c. 軽くなったローラーで、むらのないようにならします。
- d. 乾燥後、再度同様に塗布します。

5. 施工上の注意事項

(1) 下地の材令はモルタルの場合、夏季で14日、冬季で21日以上のもの(PH10以下・水分8%以下)とする。

又、施工工程、材料配合は仕様を十分確認する

- (3) 下地表面の汚れ、付着物等は除去する。
- (4) 養生は完全に行う。
- (5) 巣穴、不陸、目違い、破損箇所等はあらかじめ樹脂入りモルタル等で補修する。
- (6) 上塗工程は、見切りある箇所まで連続して行う。
- (7) 隅部、チリ等はコーナー用ローラー又は、刷毛を使う。
- (8) 施工後2～3日は傷や汚れが付き易いので注意する。
- (9) 施工時における気温が5℃以下の場合、降雨や降雪が予想される場合及び風の強い場合は、塗膜性能・仕上がり等に悪影響を与えるので施工を中止する。
- (10) 施工する前には、材料を必ず専用こし器でこしてから御使用ください。

6. 貯蔵上の注意事項

- (1) 製品は直射日光の当たる場所や、湿気の高い所を避けて屋内に保管しておく。
- (2) 製品の有効期限は24ヶ月です。

チャフウォールカルシウムペイント

(スプレー仕上)

薄付け仕上塗材・薄塗材C.P

国土交通省認定 不燃材料 No. NM-0162

1. 標準仕様

工 程	材 料	配 合	標準使用量 (kg/m ²)	塗回数 (回)	間 隔 時 間 (h)		塗面積 / 包装範囲	施 工 条 件	
					工程内	工程間又は 最終養生			
1	中 塗	チャフウォール カルシウムペイント	10kg	0.1~0.125	1	—	2以上	80m ² ~100m ² / 10kg袋	スプレー又ローラー
		水	8~10ℓ	—					
2	上 塗	チャフウォール カルシウムペイント	10kg	0.1~0.125	1	3以上	24以上	80m ² ~100m ² / 10kg袋	シュラクガン 口径 3mm 吹付圧 4~5kgf/cm ²
		水	8~10ℓ	—					

[注] ○標準使用量には水を含みません。

○塗面積は被塗装物の素地の状態、箇所及びパターンの種類によって多少の増減があります。

○間隔時間は標準状態(気温20℃・湿度65%)で表わしていますので施工現場では多少前後します。

2. 用 途

建築物内装

3. 適 応 下 地

モルタル・コンクリート・PCパネル・プラスターボード・ベニヤ・ケイカル板
オガファーザー・ルナファーザー・クロス

4. 施工について

(1) 事前チェック

事前の打合せは綿密に行い、現場のついても事前にチェックし、スムーズに施工工程が進むよう考慮する。その際、架設現場の壁面との間隔も確認しておく。この間隔は30~40cmが適当です。

(2) 調 合

- a. チャフウォールカルシウムペイント中塗は、1袋(10kg)に対し8～10リットルの清水で希釈し、均一に攪拌する。
 - b. チャフウォールカルシウムペイント(スプレー仕上)は、1袋(10kg)に対して8～10リットルの清水で希釈し、均一に攪拌する。水量を変化させると山立ちや、色調等に影響を与えるので注意する。
- (注)水の量は季節や温度によって多少異なります。

(3) 施工方法

- a. 中塗は、塗り残しのないよう均一にスプレー、又はローラー等で1回塗布する。
- b. 中塗の乾燥後、上塗を行う。
 - イ. 1回目吹きで十分被塗装面が隠れるように吹き付けをする。
 - ロ. 2回目吹きは、1回目(吹き)が乾燥してから、山立ちを揃えるように直角交叉にムラなく吹き付けをする。

5. 施工上の注意事項

- (1) 下地の材令はモルタルの場合、夏季で14日、冬季で21日以上のもの(PH10以下・水分8%以下)と
- (2) 下塗、上塗はセットされた同一銘柄のものを使用し、施工工程、材料配合は仕様を十分確認する。
- (3) 下地表面の汚れ、付着物等は除去する。
- (4) 養生は完全に行う。
- (5) 本吹きに入る前にあらかじめ試験吹きを行い、吹付圧力・模様あるいは山立ち等を確認する。なお吹付作業は、同一現場では吹付器具・吹付圧を一定に保ち、吹付技能者は同一人を原則とする。
- (6) 施工時における気温が5℃以下の場合、降雨や降雪が予想される場合及び風の強い場合は、塗膜性能・仕上がり等に悪影響を与えるので施工を中止する。
- (7) 施工する前には、材料を必ず専用こし器でこしてから御使用ください。

6. 貯蔵上の注意事項

- (1) 製品は直射日光が当たる場所や、湿気の高い所を避けて屋内に保管しておく。
- (2) 製品の有効期間は24ヶ月です。

施 工 数 量 計 算 書

種別	施工面積	材料名	荷姿	計画所用数量	計画数量	納入数量
下塗	m ²	チャフウォールシーラー	16kg	m ² × 0.16kg = kg	缶	缶
ローラー 中塗	m ²	チャフウォールカルシュームペイント	10kg	m ² × 0.1kg = kg	袋	袋
ローラー 上塗	m ²	チャフウォールカルシュームペイント	10kg	m ² × 0.1kg = kg	袋	袋
スプレー 中塗	m ²	チャフウォールカルシュームペイント	10kg	m ² × 0.125kg = kg	袋	袋
スプレー 上塗	m ²	チャフウォールカルシュームペイント	10kg	m ² × 0.125kg = kg	袋	袋

トラブル対策として

- ① 水がかかると所には、塗布出来ません。
- ② 1回調合した場合は夏場で2～3日で 発酵してきますので、
使用する分だけ 調合してください。
- ③ キズについて 同じ材料で タッチアップしてください。
ひどい場合は 1面塗るようになしてください。
- ④ 汚れについて 少々の汚れは、消しゴムで消えます。
消しゴムで落ちない場合白いきれいな布で
水に濡らして方固く絞り、サッとふき取ってください。
- ⑤ こし網について 必ずこし網でこしてください。
コテ仕上の場合は 不要
- ⑥ シミがある場合は必ずシミ止めシーラーを御使用ください。

練りパテはシミが出てくるので絶対に使用しないでください。

株式会社 西日本チャフウォール